



秋田県老連

2023

VOL. 193

令和5年1月6日発行

発行所

公益財団法人 秋田県老人クラブ連合会

秋田市旭北栄町1番5号

TEL 018 (864) 2723

FAX 018 (864) 2724

E-mail

akirouku@akitakenrouren.jp

発行人

児玉長榮 購読料/年間100円

メインテーマ

のばそう! 健康寿命、担おう! 地域づくりを

会長新年挨拶 —— 2

創立60周年記念秋田県老人クラブ大会 —— 3

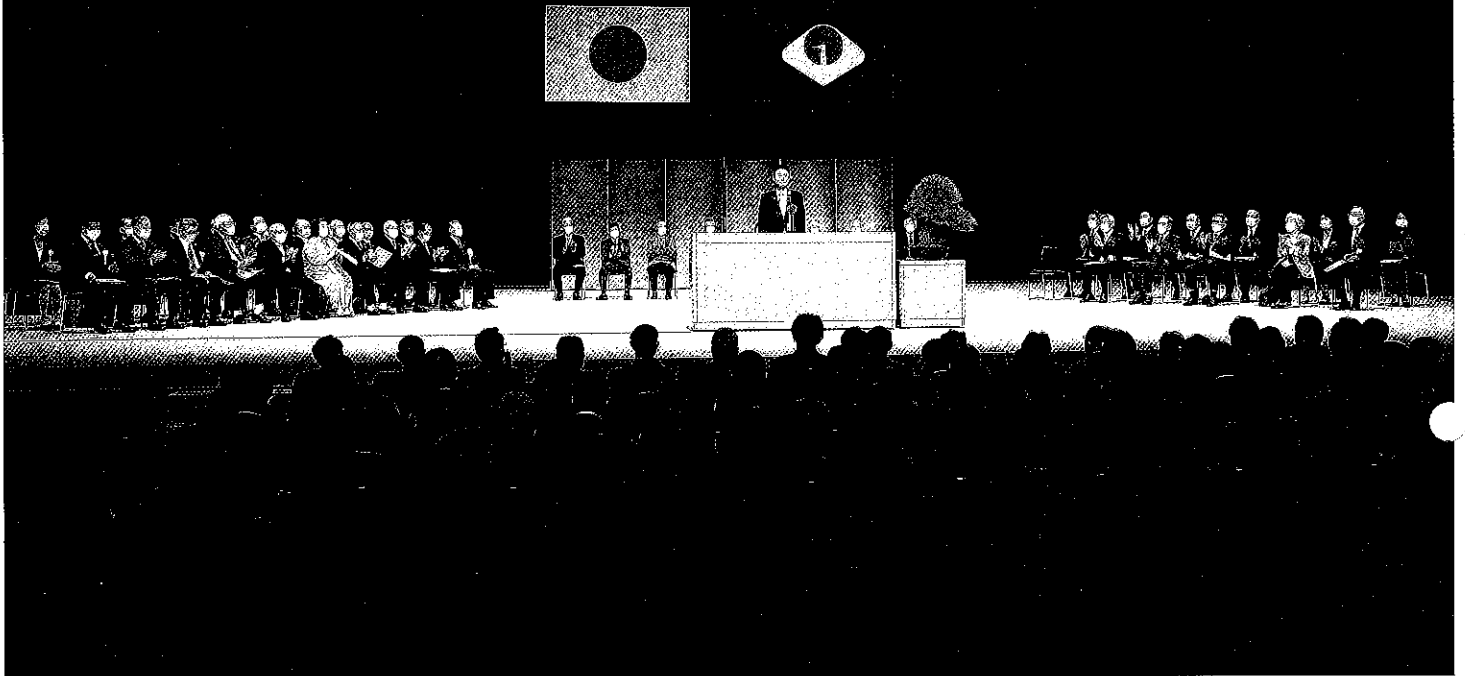
単ク・若手リーダー研修会 —— 5

地域支え合い研修会、パレー・GG大会結果 —— 6

創立60周年記念全国老人クラブ大会 —— 7

老人クラブ傷害保険・自賠償保険 —— 8

秋田県老連創立60周年記念
秋田県老人クラブ大会



▲大会式典

秋田県老連創立60周年記念
秋田県老人クラブ大会

— 約1,000名が参集 —

暁光を求めて

秋田県老人クラブ連合会

会長 児玉長榮



新年明けましておめでとうござ
います。皆様には新春をお健やか
にお迎えのこととお慶びを申し上
げます。

さて、私達を脅かしております
新型コロナウイルスも少しは落ち
着いてきたと思っておりますら、
また感染が広まってきております。
特に私達高齢者の生活はもとより、
老人クラブ活動も今まで以上に大
きな影響を受けており、行事や事
業の中止、延期や縮小等が余儀な
くされ、大勢で集まること等が出
来なくなり、加えて活動への参加
を控える仲間が出るなど、老人ク
ラブ活動に不安を感じる皆さんが
多くなってきております。

このような状況の中にあっても
県老連は、創立六十周年記念秋田

県老人クラブ大会をはじめ、主た
る行事、事業を皆さんのご理解と
ご協力をいただき、全て盛会に終
えることが出来ましたことに、感
謝とお礼を申し上げます。

なお、八月に県内三地区で開催
の県南地区のリーダー研修会では、
予想以上のご参加をいただき、予
定しておりましたグループ討議を
中止させていただきましたこと、
申し訳なくお詫びを申し上げます。

本年は、第五十二回全国老人ク
ラブ大会を秋田市にある「あきた
芸術劇場ミルハス」を主会場とし
て、十一月八日、九日の二日間に
渡って、全国より関係者の皆さん
約千五百名の方々をお迎えして開
催いたします。

この大会を県内の全会員の皆さ
んが、何らかの形で参加する全会
員参加型の秋田らしい大会にした
いと願っております。

私達はその為には、今一度私達
の郷土秋田の歴史や文化等を復習
して、お越しいただく仲間の皆さ
んに、人情豊かな秋田、風光明媚な
秋田を一人一人が自慢して語れる
対応が必要と思っております、このよ
うなことを各老人クラブが、今年

の活動目標にしていただければと
願っております。

私達高齢者の望みは、お互いに
健やかに暮らすことだと思ってお
ります。

格言に「老いてなを 美しきも
のを 吾れは求めん。若かりし目
に見えざるものを」と言われて
おります。これは助言や忠告は、し
ばらくして理解できる。との意と
思っております。

社会は今、組織離れが進み、共同
体の機能が低下してきています。

目の前には、色々な困難、課題が
立ちふさがっており、これを克服
するには、工夫と忍耐が必要と
思っております。私達には長い間
の経験と知恵があります。

お互いに自分の持つ持っている知恵
を出し合うことにより、願いが叶
い、そのことが必ず誰かの為に役
立つと思っております。

どんな暗闇でも必ず夜明けが
待っています。皆様の益々のご健
勝とご多幸を心よりお祈り申し上
げ、新年の挨拶といたします。

(注)暁光―夜明けの朝の輝き

(日の光)

謹賀新年

- 名誉会長 和田清恵(秋田市)
- 顧問 榎本義孝(県本荘市)
- 同 仲村盛吉(男鹿市)
- 会長 児玉長榮(潟上市)
- 副会長 前川 侖(県本荘市)
- 同 小林一成(能代市)
- 同 富樫俊悦(大仙市)
- 同 松岡 時子(北秋田市)
- 同 戸嶋正紀(事務局長)
- 常務理事 佐藤芳美(鹿角市)
- 理事 多賀谷正和(大館市)
- 同 山田金成(北秋田市)
- 同 佐藤正康(藤里町)
- 同 齊藤健三(男鹿市)
- 同 伊藤八十治(井川町)
- 同 佐藤昭一(秋田市)
- 同 熊谷勇二郎(仙北市)
- 同 山田松太郎(横手市)
- 同 寺田勇吉(湯沢市)
- 同 伊藤彦雄(羽後町)
- 同 佐藤 勲(大仙市)
- 監事 柴田恭一(県本荘市)
- 同 納谷京子(能代市)
- 同 島山政美(大仙市)

秋田県老連創立六十周年記念

秋田県老人クラブ大会

約千名が参集

去る十月十九日、「あきた芸術劇場ミルハス」大ホールにおいて、県内各市町村からクラブを代表する会員並びに福祉関係者、約千名の参集のもと、秋田県老連創立六十周年記念秋田県老人クラブ大会が行われました。

第一部記念講演では、「社会参加は健康長寿の秘訣」と題し、浜松医科大学教授尾島俊之先生から、老人クラブのような地域組織に入っていることが、いかに健康長寿に結びつくか、大変貴重なお話をいただきました。

第二部式典では、児玉長榮県老連会長の挨拶に続き、神部秀行秋田県副知事のご挨拶をいただき、その後、表彰を行い、全国老人クラブ連合会活動賞(三クラブ)、秋田県知事表彰(個人十七名、七クラブ)、秋田県老人クラブ連合会会長表彰(個人三十五名、十四クラブ)・活動賞(五クラブ)を授与し、また五年に一度表彰している「一円ポスト募金運動優良老人ク

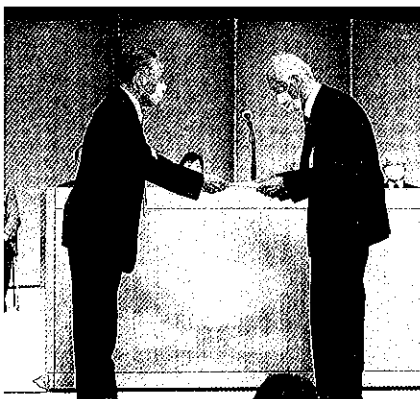
ラブ連合会(二十八団体)に感謝状を授与いたしました。

次に、「一円ポスト募金の報告を行い、本年は「秋田県老人クラブ連合会」へ、六十周年記念事業の経費として、三百万円を贈呈したことを報告しました。

次に、杉本俊比古秋田県議会副議長、佐藤博身秋田県社会福祉協議会会長からそれぞれご祝辞をいただき、最後に、松岡時子県老連副会長より、力強い大会宣言を満場一致で採択し、大会を終了いたしました。

昭和三十七年の設立以来、秋田県老連では、先人たちが「一円ポスト募金運動」に代表されるように、全国でも先駆けた活動や取り組みを数多くして参りました。

現在、老人クラブは会員やクラブの減少など、課題が山積していますが、この六十周年を機に、これまでの歩みに思いを寄せながら、会員皆様と共に、新たな一歩を踏み出して参りたいと思います。



▲全老連活動賞



▲神部県副知事あいさつ



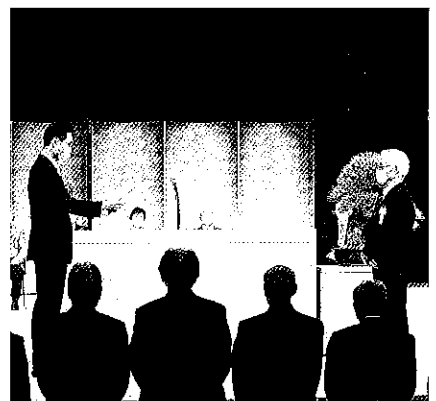
▲記念講演尾島先生



▲大会宣言



▲秋田県老人クラブ連合会会長表彰



▲秋田県知事表彰

全国老人クラブ連合会会長表彰

活動賞

大久保山ぶき会(鹿角市)
平沢寿会(にかほ市)

秋田県知事表彰

老人福祉功績者

石川昭作(秋田市)
金計悦(秋田市)
佐藤幸一(能代市)
高橋良榮(能代市)
内藤猪之助(横手市)

大会宣言

老人クラブの発展向上と高齢者保健福祉の増進に寄与することを目的に、「好かれる・話せる・役立つ」老人像をスローガンに掲げて結成された秋田県老人クラブ連合会は、ここに創立60周年の記念の年を迎えました。

戦後の混乱する激動のなかで、「老後の幸せは自らの手で創り出そう」を合言葉に誕生した老人クラブは、会員の意欲と行動、住民の励ましと協力、行政や福祉関係者の理解と支援のもと、今日まで高齢者組織として大きく発展してきました。

現在、老人クラブでは、同世代の多くの人々に参加を呼び掛けながら「健康づくり」「支え合いづくり」「生きがいづくり」「地域づくり」を目指して、多彩な活動を展開しています。

一方、本県は少子高齢化と人口減少が急速に進行していくなかで、活力を維持し、すべての世代が輝ける地域共生社会を築き上げていくためには、私たち高齢者もその一翼を担っていかねばなりません。

本日、ここに集う老人クラブ代表者は、これまでの先人たちの歩みに思いを寄せ、新たな一歩を踏み出すことを誓い、次の取り組みを実践していくことを宣言します。

- 一、健康長寿日本一をめざす「健康活動」の推進
一、暮らしを見守る「支え合い活動」の展開
一、高齢期を豊かにする「生きがい活動」の充実
一、あらゆる世代と連携した「地域貢献活動」の推進
一、高齢者の尊厳が守られる「社会保障制度」の確立

令和4年10月19日

秋田県老連創立60周年記念
秋田県老人クラブ大会

優良老人クラブ

小仲林良一(横手市)
打村征弘(男鹿市)
鎌田喜一(男鹿市)
佐々木昭一(潟上市)
鈴木木馨(大仙市)
佐藤藤克巳(北秋田市)
草野彌洋(仙北市)
牧野トミ(三種町)
永尾鐵藏(五城目町)
工藤富治(井川町)
鈴木木巍(羽後町)

老人クラブ育成功労者

秋田県老人クラブ連合会会長表彰

元町百寿会(由利本荘市)
追分西北老人クラブ(潟上市)
小種宝寿会(大仙市)
希望ヶ丘老人クラブ(五城目町)
真坂老人クラブ(八郎潟町)
朝日町健寿会(羽後町)

山谷恵美子(能代市)
成田しげ子(能代市)
木村経之(横手市)
三澤澄弘(横手市)
佐野孝喜治(横手市)
遠藤弘子(横手市)
多賀谷正和(大館市)
田中民治(大館市)
伊藤沈勇(大館市)
畠山定久(大館市)
高桑雅一(男鹿市)
小坂昭作(男鹿市)
新藤敬吉(湯沢市)
阿部富雄(湯沢市)
阿部藤子(鹿角市)
村上茂(鹿角市)
地浦正悦(由利本荘市)
近藤春雄(大仙市)
赤石幸雄(北秋田市)

優良老人クラブ

黒川第一長寿の会(横手市)
城戸壮健老人クラブ(横手市)
石塚鶴亀会(横手市)
高松地区老人クラブ連絡協議会(湯沢市)
用野目老人クラブ(鹿角市)
第六白寿会(由利本荘市)
深沢寿会(由利本荘市)
及位老人クラブ(由利本荘市)
下堰南蓬葉会老人クラブ(大仙市)
蒲友の会(大仙市)
広久内寿会(仙北市)
濁川松葉会(小坂町)
下高崎老人クラブ喜楽会(五城目町)
貝沢寿楽会(羽後町)

老人クラブ育成従事者

佐藤朋尚(大仙市)

秋田県老人クラブ連合会活動賞

◆仲間づくり活動

田 抓 健 寿 会 (にかほ市)

◆健康づくり活動

上 台 さ く ら 会 (鹿角市)

◆地域づくり活動

直 根 栄 寿 会 (由利本荘市)

白 寿 会 (大仙市)

沖田面地区老人クラブ (小阿仁村)

秋田県老人クラブ連合会会長感謝状

◆一円ポスト募金運動優良老人クラブ連合会

横手市平鹿地域老人クラブ連合会

男鹿市老人クラブ連合会

由利本荘市老人クラブ連合会矢島地区会

由利本荘市老人クラブ連合会岩城地区会

由利本荘市老人クラブ連合会大内地区会

由利本荘市老人クラブ連合会東由利地区会

由利本荘市老人クラブ連合会鳥海地区会

大仙市大曲地域老人クラブ連合会

大仙市神岡地域老人クラブ連合会

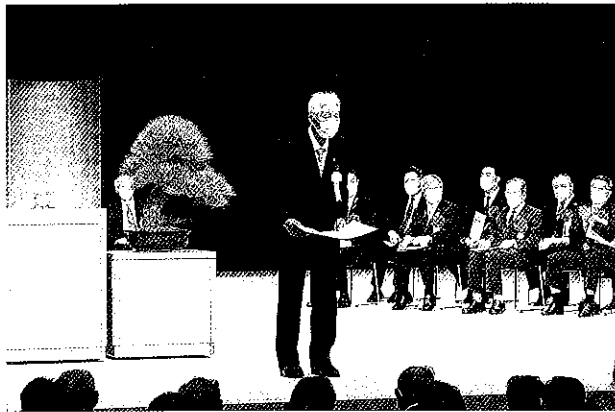
大仙市西仙北地域老人クラブ連合会

大仙市中仙地域老人クラブ連合会

大仙市協和地域老人クラブ連合会

大仙市太田地域老人クラブ連合会

大仙市南外地域老人クラブ連合会



▲一円ポスト募金運動優良老人クラブ会長感謝状

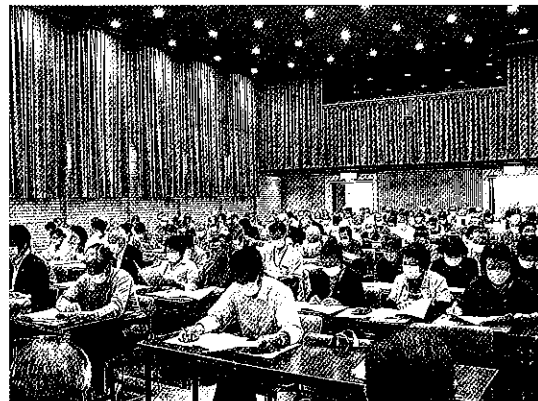
北秋田市老人クラブ連合会鷹巣支部
にかほ市老人クラブ連合会金浦支部
仙北市角館町地区老人クラブ連合会
仙北市田沢湖地区老人クラブ連合会
仙北市西木町地区老人クラブ連合会
小坂町老人クラブ連合会
上小阿仁村老人クラブ連合会
藤里町老人クラブ連合会
三種町老人クラブ連合会
八峰町老人クラブ連合会
八郎潟町老人クラブ連合会
井川町老人クラブ連合会
大潟村老人クラブ連合会
東成瀬村老人クラブ連合会

単クリーダー・若手リーダー研修会
県内三会場で開催 三〇五名が参加

昨年、八月二十五日(能代市)、二十六日(湯沢市)、二十九日(秋田市)の三日間、「単位クラブリーダー・若手リーダー研修会」を県内三会場で開催しました。
当日は、能代市の会場に七十八名、湯沢市の会場に一八六名、秋田市の会場に四十一名、計三〇五名の参加をいただきました。
最初に、「老人クラブの活性化に向けて」と題し、県老連戸嶋事務局長が、県内老人クラブの現状等について講義しました。
続いて、各会場二名、「私たちの老人クラブ活動」をテーマに活動事例の発表をしていただきました。
その後、午後からは「今後の活動に向けて」と題し、六名程度のグループに分かれて、現在の老人クラブ活動の状況を中心に話し合いをしていただきました。(湯沢会場は、密集、密接を避けるため中止)
この研修会は、新型コロナの影響で二年間中止しており、三年ぶりの開催となりましたが、多くの会員にご参加をいただき、大変有意義な研修となりました。



▲事例発表 佐藤博 氏(能代市)



▲湯沢会場の様子

地域支え合い活動リーダー研修会

三会場で三二六名が参加

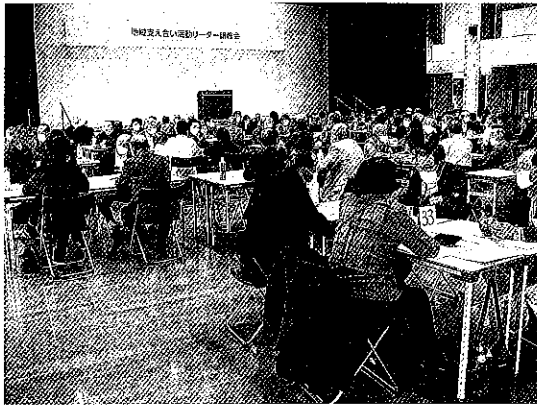
昨年、十月二十五日に美郷町、二十六日に由利本荘市、二十七日には北秋田市で「地域支え合い活動リーダー研修会」を開催いたしました。

この研修会は、これまでの友愛活動の実績を生かし、日常的な地域支え合い活動を進めるため、その実践リーダーを養成することを目的に、平成二十二年年度から始まったものです。

三会場で総勢三二六名の参加をいただき、左表の内容で行いました。

【内容】

1. 講義「老人クラブが取り組む地域支え合い活動について」
秋田県老連事務局長 戸嶋正紀
2. 事例発表「私たちの友愛活動について」
 - 《県南地区》
 - 美郷町 町老連副会長 佐々木順吉 氏
 - 仙北市 荒町金勢寿会会長 高橋 達 氏
 - 《中央地区》
 - 由利本荘市 本荘地区会女性委員長 渡部恵美子 氏
 - 《県北地区》
 - 北秋田市 鷹巣支部理事長 渡部 道昭 氏
 - 大館市 水門町桂水会会長 伊藤 良子 氏
3. 情報交換
「老人クラブが取り組む支え合い活動について」



▲情報交換(北秋田市)



▲美郷会場の様子

八人制バレー・GG交流大会結果

※紙面の都合により上位の成績のみ掲載

一、第三十五回秋田県高齢者八人制バレーボール親睦交流大会

◇令和四年九月七日(水)

◇秋田市立体育館

◇二十八チーム・三〇三名

●優勝(男子)

鷹巣支部8人制バレーボール同好会、大仙ひまわり会、小坂アカシヤ

●優勝(女子)

鷹巣支部8人制バレーボール同好会、サン・レディズバレーボールクラブ

二、第四回秋田県高齢者ゴルフラウンドゴルフ親睦交流大会

◇令和四年九月二十八日(水)

◇秋田太田奥羽グラウンド・ゴルフ場

◇三十八チーム・一五二名

●団体戦

優勝：太田町

準優勝：横手地域B

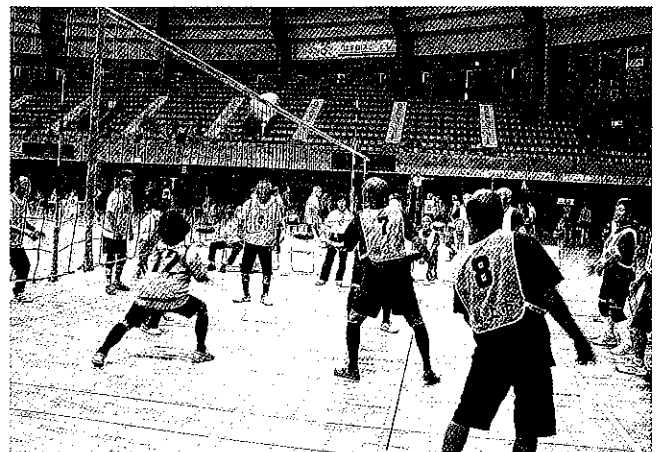
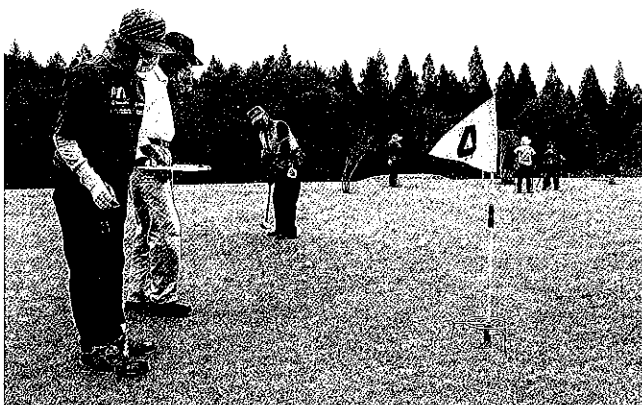
第三位：むらすぎ(にかほ市)

●個人戦

優勝：高橋不二郎(大仙市)

準優勝：古谷裕紀(横手市)

第三位：倉田則夫(大仙市)



全老連創立60周年記念
全国老人クラブ大会
 天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ
 東京都 国技館で開催
 —令和5年度は本県で開催—

去る十一月八日、東京都国技館において、全老連創立六十周年記念全国老人クラブ大会が開催され、本県からは二十五名が参加しました。

当日は、天皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、全国から約八五〇名が参加しました。

第一部式典では、天皇后陛下のことばを賜り、続いて、厚生労働大臣表彰と全老連会長表彰が行われました。さらに、岸田文雄内閣総理大臣（代理）、細田博之衆議院議長（代読）、尾辻秀久参議院議長より祝辞があり、被表彰者代表が謝辞を述べました。最後に大会宣言が朗読（全老連副会長・女性委員長、秋田県老連松岡時子副会長・女性委員長）され、満場の

拍手で採択され終了しました。

第二部は、作家阿刀田高氏による記念講演が行われ、続いて、秋田県老人クラブ連合会児玉会長から来年度の開催について報告を行い、全日程を終了しました。

なお、本県関係の受章者、次年度開催日程は、左記の通りです。

■厚生労働大臣表彰
 《老人クラブ育成功労者》
 潟上市 児玉長榮 県老連会長
 羽後町 伊藤彦雄 県老連理事

《優良老人クラブ》
 鹿角市 下夕町長寿会

《優良市区町村老人クラブ連合会》
 大館市老人クラブ連合会

■全国老人クラブ連合会会長表彰
 《育成功労表彰》
 由利本荘市 前川侗 県老連副会長
 能代市 小林一成 県老連副会長

《優良老人クラブ表彰》
 能代市 天内長寿会

《優良市区町村老連表彰》
 由利本荘市老連鳥海地区会

■令和5年度開催日程
 ・とき 令和5年十一月八日(水) 九日(木)
 ・会場 あきた芸術劇場ミルハス 大ホール

天皇陛下おことば

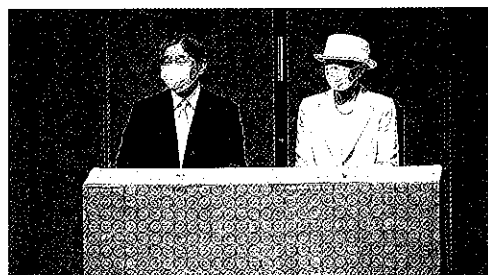
全国老人クラブ連合会の創立60周年記念全国大会に、皆さんと共に出席できることをうれしく思います。

老人クラブは、戦後の厳しい状況の中、高齢者自身が作り上げたものであり、各地の老人クラブが、健康、友愛、奉仕を柱とした様々な活動に取り組み、それぞれの地域に明るい長寿社会を築くことに寄与してきました。関係者の60年にわたるたゆみない努力により、老人クラブが全国に普及し、各地において、高齢者がお互いに助け合いながら、健康の増進や相互の支え合い、住みよい地域づくりに貢献してきたことは大変意義深いことと思います。この度、表彰を受けられる皆さんを始め、多くの関係者の尽力に対し、深く敬意を表します。

高齢者の方々には、近年、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、大変に御苦労が多かったものと思います。そのような中であって、老人クラブの皆さんが創意や工夫をこらし、子どもたちや若い世代とも交流しながら、積極的に社会参加を進められていることを、頼もしく思います。

今後とも、皆さんのこれまでの経験と知恵を若い世代に伝えつつ、老人クラブが、我が国における高齢者の社会参加や明るい地域づくりのために、重要な役割を果たしていくことを期待しております。

これからも、皆さんが健康に十分留意されながら活躍されることを願い、大会に寄せる言葉といたします。



▲次回大会報告
 (児玉会長)

▲大会宣言
 (松岡副会長)

※写真提供：全国老人クラブ連合会

いきいき活動を支える 老人クラブ会員向けに 傷害保険・賠償責任保険で安心補償

- ◆この保険の対象は、全国老人クラブ連合会に連なる都道府県・指定都市老連および市区町村老連に加入している単位老人クラブです。
 - ◆全国老人クラブ連合会が契約者となり、各単位老人クラブで取りまとめて申し込む団体保険です。個人での加入手続きはできません。
 - ◆新規加入をご希望、ご検討の際は、クラブで担当者を決めて全老連「保険係」まで資料をご請求ください。
- 〈資料請求受付期間〉【傷害保険】4月始期⇒1/4から2月末頃まで、10月始期⇒7/1から8月末頃まで
【賠償責任保険】随時受付中

2022年10月始期
2023年4月始期版

傷害保険 〈掛金・補償内容〉

自分がケガをした時の保険です。(病気は対象外)。
一部のタイプでは特定感染症に感染した場合や、他人の物を壊したり、他人にケガをさせた場合*1も対象となります。1人1口加入で年齢制限はありません(複数口加入はできません)。*1 法律上の賠償責任が伴う対人・対物事故が対象です。

①保険始期月および保険期間	保険始期月	手続き期間(締切日厳守)	保険期間
	2022年10月	2022年7月15日～9月15日まで	2022年10月1日午後4時から1年間
	2023年4月	2023年1月15日～3月15日まで	2023年4月1日午後4時から1年間

②掛金内容・補償内容【下記◆重要◆と併せてご確認ください】

タイプ 補償内容 (保険金額)	掛金	補償充実 24時間型 クラブ活動中(往復途上(注1)を含む)・クラブ活動中以外を問わず日常生活全般(24時間)のケガを補償します。 【補償額】上段:活動中のケガの補償額 下段:(活動中以外のケガの補償額)				活動型 クラブ活動中(往復途上(注1)を含む)のケガを補償します。	
		12,000円/年 (182万円)	8,000円/年 (123万円)	5,000円/年 (104万円)	3,500円/年 (74万円)	1,000円/年	500円/年
A 死亡保険金(注2) (事故から180日以内)	352万円 (182万円)	208万円 (123万円)	189万円 (104万円)	119万円 (74万円)	85万円	45万円	
B 後遺障害保険金(注2) (事故から180日以内)	352万円 (182万円)	208万円 (123万円)	189万円 (104万円)	119万円 (74万円)	85万円	45万円	
C 入院保険金日額(注3) (事故から180日以内、30日限額)	6,300円 (2,300円)	3,200円 (1,200円)	3,050円 (1,050円)	1,800円 (800円)	2,000円	1,000円	
D 通院保険金日額 (事故から180日以内、30日限額)	3,700円 (1,100円)	2,050円 (750円)	1,950円 (650円)	1,150円 (500円)	1,300円	650円	
特定感染症危険補償 (新型コロナウイルス感染症含む)(注4) (始期日から10日間は免責)	対象となる保険金 B C D (注5) (A)死亡保険金は対象外です)						
個人賠償責任補償 (自動車事故も含む)(注6)	1億円限度						
地震・噴火・津波 危険補償	対象となる保険金 A B C D (注5)						
熱中症危険補償	対象となる保険金 A B C D (注5)						

③【クラブ活動中とは】

- (1)「所属する単位クラブが予め計画・実施する活動」および
- (2)「市区町村(地区・校区)から全国までの各連合会が主催する活動イベント」ならびに
- (3)「老人クラブ関係者として他団体の活動」への参加・往復途上を含みます。
- (4)事故証明者:単位クラブ関係者、参加した主催者連関係者

◆重要◆

- (注1)往復途上とは、自宅(マンション、アパートなどの集合住宅は専用部、戸建ては敷地を含む)を出てから、クラブ活動場所までの通常経路を指します。
- (注2)死亡保険金と後遺障害保険金をどちらも請求する場合、いずれかの補償額が上限となります。(例:すでに支払った後遺障害保険金がある場合の死亡保険金は、すでに支払った金額を控除した残額となります)後遺障害の程度に応じて、後遺障害保険金の4%~100%が支払われます。
- (注3)手術保険金として、入院中は入院保険金日額の10倍、外来(入院中以外)は5倍がお支払対象となります。傷の処置や抜歯等お支払いの対象外の手術があります。
- (注4)特定感染症危険補償特約。2022年2月現在、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第6条第7項第3号に規定されていますので、補償対象となります。特定感染症を発病した場合に、後遺障害保険金、入院保険金、通院保険金について(除く死亡保険金、手術保険金)補償の対象となります。
- (注5)特定感染症、地震・噴火・津波危険補償、熱中症危険補償はクラブ活動中・活動中以外を問わず24時間対象ですが、補償額は④死亡保険金(除く特定感染症補償)、⑥後遺障害保険金、③入院保険金日額、⑥通院保険金日額の下段()内の補償額(活動中以外の補償額)となります。
- (注6)1事故について1億円を限度に保険金をお支払いします。自動車等を運転中に生じた事故については対象外となります。

賠償責任保険 〈掛金・補償内容〉

他人の物を壊したり、ケガをさせた時*1の保険。自分のケガは対象になりません。

- ① 対象: 単位老人クラブ(全員加入が条件となります)
- ② 保険期間: 毎年10月から1年間(中途加入可)
- ③ 掛金: 1人年額100円(最低引受保険料3,000円)
- ④ 補償: 支払限度額1億円

*1 法律上の賠償責任が伴う対人・対物事故が対象です。



公益財団法人全国老人クラブ連合会 保険係

〒100-8822 東京都千代田区霞が関3-3-2 新緑が興ビル5階

受付時間: 9:00~17:00(土・日・祝日、年末年始)

加入申請書等、資料請求先

専用FAX 03-3597-8767

お問い合わせ先

03-3597-8770

ホームページ <http://www.senior-ltd.com/> 老人クラブ保険 電話 03-3597-8770 メールアドレス hoken@senior-ltd.com

(取扱代理店) 有限会社 ソニアサービス社 TEL.03-3597-8768

(引受幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社 医療・福祉法人部 TEL.03-3515-4143

※この広告は、以下の商品についてご紹介したものです。

【老人クラブ傷害保険】
老人クラブ団体傷害保険特約付帯傷害保険・
総合生活保険(傷害補償)

【老人クラブ団体賠償責任保険】
施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険

※加入にあたっては、必ず「パンフレット」「概要」「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は、ご契約者である団体の代表者にお渡ししております。保険約款によりませんが、ご不明な点は、代理店までお問い合わせください。

2022年3月作成 21-TC11211